

こんにちは! 社協です!!

ふれあいネットワーク

2015

9月

No.123

特集 P2・3

特集
赤い羽根
共同募金
2015

今年もはじまります
赤い羽根
共同募金運動

ひ孫と
いっしょ

山崎町 川戸 シリーズ122

しみず まさなお
志水 正直さん(90歳)

りお 桜ちゃん(8歳) おうら 桜羅ちゃん(6歳)

うるふ
○狼星くん(3歳)

しみず しょうた ともか
志水 正太さん・智香さん

■長女・二女・長男

特集
赤い羽根
共同募金
2015

今年もはじまります 赤い羽根共同募金運動



あなたの声援が大きな力に…(千種 河呂運動会)



10月1日(木)～
12月31日(木)

赤い羽根の募金活動は、
まちの人のやさしい気持ちを集める活動です。
あなたのやさしさが、あなたの声かけが、
あなたの行動が、きっと、まちを変えていく
はじめの一步となるはずです。
もっと、もっと、良いまちになりますように。

ご協力よろしく願いします

地域で集めた募金は、 集めた地域で 使われています。

宍粟市で集まった募金の約90%は、
宍粟市内で使われています。

残りの10%は、市域を越えた

広域的な課題を解決するための

活動に使われています。



宍粟市での 共同募金の使われ方

宍粟市の昨年度の募金総額は、
8,453,502円でした。

この内の約9割が、宍粟市内の地域福祉活動(自治会福祉連絡会、障がい者支援施設、民間保育所等による活動、移送サービス、配食サービス等)に活かされています。



ひとり暮らし高齢者等への配食サービス



福祉連絡会主催の住民福祉学習会



平成27年度ポスター

**あなたの気持ちを
届けてください**

募金には、戸別募金、事業所募金、職域募金、学校募金、街頭募金等があります。また、期間中は、社協の各支部の窓口をはじめ、コンビニ等に募金箱を設置します。

【街頭募金のお知らせ】

10月1日(木)

・Aコープ山崎店

午前10時～

・道の駅播磨いちのみや

午前10時30分～

・Aコープ波賀店

午後4時30分～

・Aコープ千種店

午前11時～

問い合わせ先

宍粟市共同募金委員会事務局
(宍粟市社会福祉協議会内)

☎72-8787

や

まさき

自治会上げた新たな行事を!

門前自治会『夕涼み会』

8月29日(土)、門前自治会で「夕涼み会」が行われ、公民館には小雨の降る中、320人の参加者で賑わいました。

同自治会は、250世帯と大きく、世代交流の機会をもっと増やしたいと、ふれあい喫茶「遊遊会」に関わる自治会役員と福祉委員が協議し、みんなが参加できるまつりとして夕涼み会の開催が決定しました。

開催に向け、回覧板やポスターで周知し、市内の夏祭りイベントを見学するなど準備を進めました。

当日は遊遊会をはじめ、若い世代のお父さん、お母さんが食べ物屋台などのスタンプとして活躍し、「全部美味しかった」「またやってほしいわ。今度はいつやる」など、次回の開催を待



「スーパーボールいっぱいすくえたで!」夏休みの楽しい思い出になりました(門前公民館)

ち望む声が多く聞かれました。同会代表の河本健清さんやスタンプの皆さんが、「大変やったけど、みんなが喜んでくれて良かった。今回のデーが今後の参考になる」と、笑顔で話されている姿が本当に印象的でした。

世代を問わず、みんなで協力して自治会行事に取り組むことで、いざと言う時に役立つ「地域のつながり」を強くしていきます。

(山崎支部 森井裕矢)

い

ちのみや

これから細く長く交流を

海と山のいちのみや老人クラブ

8月21日(金)、20回目となる「海と山のいちのみや老連(老人クラブ連合会)交歓会」が開催されました。交歓会の始まりは阪神淡路大震災で被災した淡路一宮町の仮設住宅を当時の穴栗一宮の老連役員がお見舞いを兼ね訪問されたのがきっかけ。以来交互に年1回の交流が続けています。

らしい。これからもつないでいきましょう」とあいさつ。一日足らずの交歓会でしたが終始笑顔が絶えませんでした。二つの「一宮」の老人クラブの交流が「そうめん」と「線香」(淡路の特産品)のように「細く長く」続くことを願っています。

(一宮支部 山本正幸)

今回は穴栗がホストとなり、淡路のみなさん16名をお迎えし、穴栗からは14名が出席しました。伊和神社で正式参拝のあと、安積にある「兵庫木材センター」を視察し、「アイランドゴルフガーデン千草」で会食をして交流しました。

ホスト役を務めた一宮支部老連会長の段林繁さんが「マイナスイオンいっぱいのお穴栗市はいかがでしたか。この交歓会が20年続いていることがすば



会食前に互いに自己紹介(IGG千草にて)

や・い・は・ち トピックス

みんなが気軽に集える場

齊木三区「いいこの家」

8月26日（水）、齊木自治コミュニティセンターで、今月の「いいこの家」が行われ、11人の参加がありました。

いいこの家は、齊木三区有志の榎谷（えのこ）さよ子さんと谷口（やぐち）朱美（あけ）さんが「家から出てこれていない人が、寄つてところがあつたらいいね」と、高齢者のつどいの場として昨年12月から始められています。

夏場は月1回、冬場は月2回行われ、体操したり歌ったりと、参加者で話し合いながら毎回内容を考えており、次の日程についても参加者全員で決めています。

この日も、「わっはっは」と賑やかな声が響き渡り、「今日のおやつは何にしましょうか？」と、参加者みんなでお金を出し合つていっしょに考えました。この「気軽さ」が、いいこの家の特徴です。

参加者からは、「近くの心やすい人ばっかりやしなあ」「寄



いいこの家には笑顔が絶えません
(齊木自治コミュニティセンター)

りやすうてえんやわあ」とにこにこ話され、榎谷さんからは、「まずは続けていくことが大切やと思うてます」と、思いをお聞きました。

このように、ちよつと寄れて気軽に集える場があることは、お互いが気にかける見守り活動にもつながります。このような場が、各地域に広がっていくといいですね。

(波賀支部 坂本幸子)

「寄って話せるところが大事やね」

室ふれあい喫茶

8月23日（日）、室自治会でふれあい喫茶が行われ、30人が参加しました。室では、隣保長である福祉委員が喫茶のチラシを各戸に配布し、婦人部が運営スタッフとして準備を進めています。

これに先立ち、福祉連絡会代表の平田（ひら）正実（ただみ）自治会長から、「福祉委員研修

会の内容を自治会でもしてほしい」と依頼があり、8月6日（木）に学習会を行いました。

学習会には、福祉委員やふれあい喫茶関係者等が参加し、日頃の声かけの大切さやふれあい喫茶について一緒に考え、高齢者等の地域で気になる人の見守りに

なると。室自治会では、ふれあい喫茶の開催が、30人が参加しました。室では、隣保長である福祉委員が喫茶のチラシを各戸に配布し、婦人部が運営スタッフとして準備を進めています。

もつながらる取り組みであることを確認しました。

喫茶当日、喫茶リーダーの鎌倉（かみくら）美佐子（みさこ）さん（婦人部長）は、「寄って話せるところが大事やね」と話され、喫茶が果たす役割が大きいことを感じておられました。

今後も、室自治会が進めるまちづくりの中に、ふれあい喫茶を通じた見守り活動が定着するよう、私たちも一緒に考えながら応援していきます。

(千種支部 山本めぐみ)



「久しぶりやね。元気にしよったか?」(室公民館)

はが

ちくさ

10月24日は やまさきボランティアフェスタへ

山崎のボランティアグループ、作業所、障がい者施設の活動をPRするイベントです。

今年は、各グループの体験発表や防災訓練を兼ねた芋煮の炊き出しも行います。

ご家族、お友達など、お誘いあわせのうえお越しください。



昨年度、給食グループによる食べ物コーナーの様子

日時 10月24日(土)10:30~14:00

会場 宍粟防災センター

内容 ★ボランティア体験コーナー

★作業所コーナー

★食べ物コーナー

芋煮、炊き込み、ポップコーン

綿菓子、コーヒー、ケーキ他

★山崎高校家庭部販売コーナー

主催 山崎ボランティア連絡会

宍粟市社会福祉協議会

お問合せ 山崎支部 62-5530



ぼらんちゃん

「餅つき隊が出張します!!」

～メイプルタウンクラブ～



道の駅「はが」へ出張(H27.8.29)

「メイプルタウンクラブ」は、福祉施設や地域のイベント等に「餅つき」で交流活動に取り組んでいるボランティアグループです。

とち餅、笹餅など地元の特産を使った餅つきを行い、地域活性のお手伝いとして市内各地へ餅つき隊として出張しています。

これから10月、11月と秋のイベントシーズンがやってきます。“餅つき隊”に来てほしいと希望される方は、波賀支部までお問合わせください。

(波賀支部:坂本幸子)

▼お問合せ 波賀支部:75-3631

夏休みにチャレンジ! サマーボランティア 2015

手話体験



親子で手話を学びました。

★手話は難しかったけど自分の名前

ができて、よかった。(小3・男子)

★伝えたい気持ちが大切だと分かった。(中1・女子)

「お盆に行くね」って書きました。

防災体験



火事の怖さを映像で学び、最後は消防車も見学しました。

★火遊びは絶対しない。

(小1・男子)

★消防士さんの説明で防災について、もっと詳しくなりました。(小5・男子)

お便りボランティア体験



★絵がきれいにぬれてよかった。

(小3・女子)

★よろこんでもらえると思います。(小5・男子)

アイマスク体験



二人一組になって施設内を歩きました。

★目が不自由なことはとても不便だと思った。(中1・女子)

★アイマスク体験で、慣れた所でも歩くのがとても怖かった。(小6・女子)